

平成21年度 ニシン漁獲物調査速報(号外)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、適宜お知らせします。

昨年(平成20年)の3月下旬～4月にかけて、積丹半島周辺海域の定置網類で、産卵を終えたニシンが漁獲されました。特に、積丹半島南側での漁獲は、それまで多くて数十kgだったものが、昨年は96トンと大漁となりました。そして、今年も4月上旬から岩内町の底建網にトン単位の漁獲があり、その漁獲物について標本測定を実施しましたので結果をお知らせします。

ニシン漁獲物調査速報のバックナンバーは、北海道立水産試験場のホームページ「マリネット北海道 (<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/>)」からご覧頂けます。

【結果】

1. 尾叉長組成は26cmモードとなっていました(図1)。
2. 今漁期の石狩湾海域と同じく26cmのピークは3年魚に対応していました(図1)。
3. 年齢組成は3年魚74%, 4年魚18%, 5年魚8%と3年魚が多くなっていました(図1)。
4. 昨年の尾叉長組成では2年魚を示す21～22cmにもピークがみられていましたが、本年は2年魚はみられていません。
5. 平均脊椎骨数は54.67と石狩湾系群を示唆する数値でした。
(石狩湾系群54.4以上, 北海道サハリン系群54.2前後, テルペニア系54.0未満)
6. 平均生殖腺重量はオス1.4g, メス2.1gで、ほとんどが産卵後となっていました(表1)。

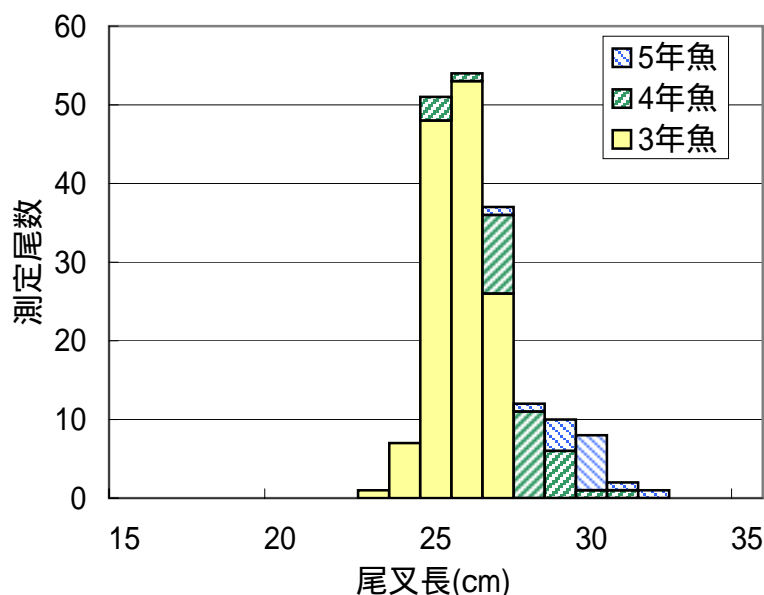


図1 2009年4月7日岩内
年齢別尾叉長組成

表1 岩内郡漁協(4月7日)の雌雄別測定結果

項目	オス	メス	合計
測定尾数	88	95	183
平均尾叉長(cm)	26.6	27.1	26.8
平均体重(g)	187	201	194
平均生殖腺重量(g)	1.4	2.1	-
平均GSI(%)	0.8	1.3	-